

## 資料 10.1955 年 1 月 25 日付岩稜会宛石岡からの葉書

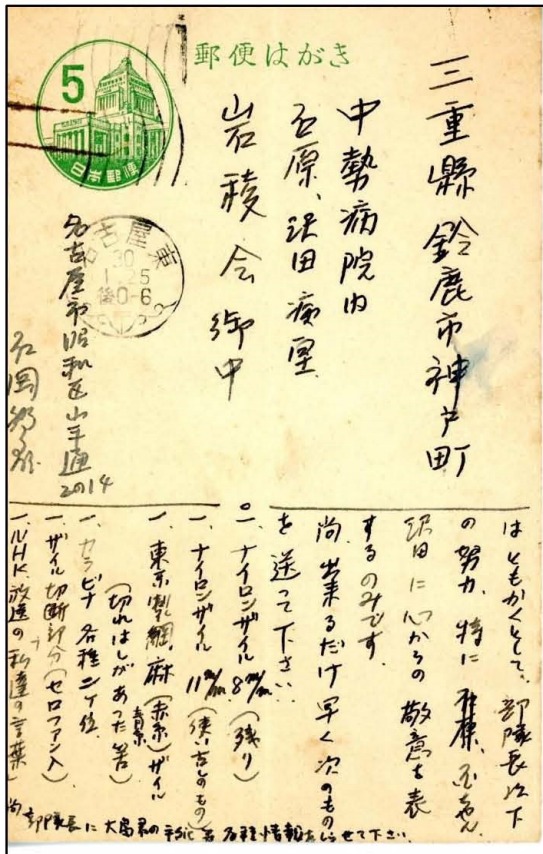
1955 年 1 月 25 日付 岩稜会宛石岡からの葉書浄書

今日午後、名工大でとりあえずザイルの抗張力の Test をしてみることにになりました。今後いろいろな角度を持つ刃の Test を行うつもりです。尚、熊さんは「ザイルを尻に敷いていたから凍結した」と言っているようです。(誤った使用法だそうです)屁理屈には違いはないのですが…いずれにしても、アタック開始から終わりまで(或は入山当初から)出来るだけ詳細に、また早急に書き物にしておいて下さい。部隊長が 2 日上高地に降りた時には、既にザイル切断が判っていたそうですが(梶本氏の言)、私が想像していたとおりで別に驚きでもありませんから、事実のまま、記して結構です。また、批判等も遠慮なく記して欲しいと思います。(高井にも連絡して欲しい。室や松田、その他全ての人に)進歩は真実の批判以外にない筈です。要するに私自身としては、いろいろな批判、反省はともかくとして、部隊長以下の努力、特に國ちゃん、澤田に心からの敬意を表するのみです。

尚、出来るだけ早く次のものを送ってください。

- 1.ナイロンザイル 8mm(残り)
- 1.ナイロンザイル 11mm(使い古しの物)
- 1.東京製網麻(赤糸・青糸)ザイル(切れ端があった筈)
- 1.カラビナ各種 2 ケ位
- 1.ザイル切断部分(セロファン入)
- 1.NHK 放送「私達の言葉」

尚、部隊長に大島君の手紙等各種情報を知らせて下さい。



今日 14日、名工大で、とりあえず ガンの  
拡張力の Test をしてみることになりました。  
今後、いろいろな角度をもつた Test を  
行うつもりです。尚、熊さんは「ガンを  
尿の下に包んでいたから凍結した」といつ  
かのように言っています (誤った使用法だそうですが)  
へ理屈にはちがいないのですか? ... 1つ4に  
しても、アタリ 開始から 終了まで (或は  
入山当初から) 出来るだけ 詳細に 書き物  
にしておいて下さい。部隊長が 2日と高地  
に居た時には、既にガン切込が利いて  
いたのでしょうか (梶本氏の言) 私に想像し  
ていたとほりで、別に 驚きでもありませんから。  
7歳のまま 言いつくす。又、批判等も  
遠慮なく 言いつくす。思っています (高木と  
連絡してほしい。室や松田、その他すべての人)  
進歩は 毎日の批判以外にはない苦です。  
要するに 私自身としては、いろいろな批判、多量